

## 映像だから出来ること。人にしか出来ないこと。 整理し活用することで、 勉強の要領は格段に上がります。



高木 秀章 (塾長)

暑い日が続きますが、皆さんは、クラブに学校の宿題に、そして夏期講習に大忙しだと思います。

先生達にとっても夏は、本当に忙しい季節です。中年太りである先生の体も、夏期講習明けにはきっとスリムになっていることと思います。夏期講習も中盤を迎えた皆さんに、先生から一言アドバイスをおきたいことは、「講習内容を業務的にこなさないこと」。講習会は時間も長く、宿題も多いので、つついそれらをこなすことに追われがちですが、目的意識を持ち勉強に取り組むことが重要です。

小学部や中1生の皆さんにとっては、今までの学習内容を復習することで、それらを土台とする2学期以降の学習理解がスムーズになります。また、中2生にとっては、中2の1学期までの学習内容がどれだけ定着したかで、受験勉強における実力の伸びが違います。よって中2生にとって、夏明けの模試、実力テスト結果は志望校を決定する上での重要な材料となります。中3生は言うまでもなく、夏期講習での勉強の成果が、2学期の大阪市統一テスト、実力テストで問われ、受験校決定の判断材料となります。

夏期講習の最終日には、全学年で模擬試験が実施されます。「実力はなかなか伸びない」と考えている人も多いようですが、実力も定期テストと同じように、テスト勉強をすることで確実に伸ばすことが出来ます。

まずは授業内で配布される、模試過去問題の演習と丸付け、間違い直しを行ってください。この時、必ず理解箇所の質問を忘れないようにしてください。その後、答案全体を見渡し、自分の弱点単元を見つけ、その単元を講習テキストに戻って復習します。このように、模試過去問題より弱点単元を発見し、その穴を問題集で埋めるように勉強することで模試の偏差値を確実に伸ばすことが出来ます。

夏期講習も折り返し地点にさしかかる今、再度、夏期講習の目的や目標を明確にして、勉強に取り組んで欲しいと思います。

1学期期末テスト結果の学校平均との分析データが出てきました。カイチではこの春から授業が映像に移行し、生徒達の成績がどのように変化したのかが気になるところでしたが、トータルの学校平均点との差は昨年度と比較して横ばい、カイチ生は平均して5教科合計平均75点プラスでした。ただ、映像授業へ移行して5ヶ月経った今、映像指導でのメリットとデメリットがはっきりと分かってきました。

最初に、映像指導のデメリットとして、映像では理解しにくい学習箇所があるということです。例えば理科の1分野や数学の関数などです。これらは、私達が授業を行っても、1度で理解させることが難しい部分です。その場合、ライブの授業では、生徒の顔色を見ながら表現を変えて説明を行います。しかし、映像では、戻って見直すことはできるものの、表現が同じために、理解出来ないというケースがあるようです。

そこで、9月より通常授業において、コンピュータシステムで作成した宿題を大問4題ずつ出題し、授業の冒頭で丸付け、講師による解説指導を行います。これにより、映像で理解しづらかった箇所を講師による解説でフォローでき、更に、ポイントとなる問題や難易度の高い問題を反復して出題することで定着を高めることが可能となります。もちろん、合格点に満たな

い生徒は居残りでの個別のフォローも行います。

一方、映像指導のメリットは、学習の効率化です。これには、私自身、生徒達の環境適応する力に驚いています。生徒達の多くが1.8倍～2倍の速度、場合によっては、映像を見ずに問題を演習し、不理解箇所のみ映像を見るなど、自分なりの学び方を工夫することで、従来よりも遙かに短い時間で学習内容を消化できるようにになりました。現在、それにより生まれた時間で、「解きメキ」(タブレットによる英単語暗記システム)や受験問題、受験用問題集に取り組み、学習をどんどん前に進める生徒が出ています。今では、私が授業に入ると既に、タブレットで単語を覚えているということも珍しくありません。

このような生徒達の姿を見ていると、私達講師の仕事が、勉強をサポートすること「丁寧に質問に答えること」「生徒一人一人に声かけを行いやる気を引き出すこと」「生徒各自に応じた学習法や学習計画をアドバイスすること」、「適切な添削指導を行うこと」に集約されてくると考えています。

今後、授業の欠席における補習や、受験生で受講したい講座がある場合は、積極的に塾の空き教室を使い、自主的に勉強を進めるようにしてください。もちろん、どの映像を受講したら良いか等のアドバイスは、各教室にて行います。特に受験生の皆さんにとっては、大切なテストが多い2学期、自習室で弱点単元や強化単元の講座をピックアップして勉強することで、実力を更に伸ばすことが出来ます。

映像だから出来ること。人にしか出来ないこと。それらを整理し積極的に活用することで、勉強の要領は格段に上がります。

夏期講習も、残すところ1週間。私達も精一杯生徒達の指導に当たりたいと思います。全員が志望校に合格できるように。最後まで全力でがんばりましょう。



るのだろうか?」と不安になるくらい楽に感じるようになりました。そして迎えたテストでは無事いい点数を取ることができました。

2つ目は理解した「つもり」をなくすこと。例えば数学では、分からなかった問題の答えを見て「なるほどこの公式を使えばいいのか」と納得して、自分で解けるつもりになるのですが、もう一度時間をおいて解き直してみようと思っても全く分からない。結局解答に使う公式は知っているが、それをどのような場面で使えばいいのか分かっていなかったのです。だから私はその問題を他人に説明できるようにするまで何回も解くようにしました。自分がまずその問題を理解しないと他人に教えることはできないからです。私は、この2つのことをカイチに入ってから気づくことが出来ました。今カイチに通っている皆さんにも塾での学習を通して、ただ学力を上げるだけでなく勉強の面白さや自分自身で試行錯誤する楽しさをぜひ知ってほしいと思います。



い苦勞をされていることを知り、自分ももっと頑張らなれないという気持ちにさせてくれます。ちなみに、ここ一年で見つけた中で一番の名言は「人生に失敗がなければ、人生を失敗する」という随筆家の斎藤茂太氏の言葉です。これは、そっくり受験勉強にもあてはまります。

「受験勉強に失敗がなければ、受験を失敗する」これから受験生の皆さんは学校の間接テスト、期末テスト、実力テストをはじめ五ツ木模試、進研模試と高校進学を左右する大切なテストが立て続けにやってきます。それらすべてのテストで良い結果を残せればよいですが、中には頑張ったのにいい結果がでなかったということもあるでしょう。悪い結果を見たときには気分は落ち込み、目標をあきらめてしまおうかという気持ちになるかもしれません。ただ、その悪い結果の中には自分を成長させてくれるヒントがたくさん眠っているのです。失敗しない人はいます。失敗を恐れずに成長のチャンスと捉え、結果を反省し必死に次に向けて復習する。そういう姿勢を持ち続ける生徒が最後には勝つように受験はできていると思います。最後まで諦めず、必死に取り組もうとする受験生達、それにつづく生徒達のために、先生達も全力でサポートしていきます。受験を笑顔で終われるように、一緒に残り半年頑張っていきましょう!



## COLUMN: 先生紹介 ▶ 谷口 史 (諸口教室)

### カイチに入って気づいた「勉強のコツ」



初めまして、今年度から諸口教室で勤務することとなりました。谷口史と申します。現在は関西大学に在学しています。さて、ここでは皆さんに私の中学時代での受験期の体験談をもって挨拶に代えさせていただきます。

私は中3の秋からこの諸口教室に通いました。当時は陸上部に所属していて、テスト勉強といってもただ授業の内容をひたすら覚えるだけのもので、暗記物は正解できるが、少しひねられた問題は不正解、といった具合でした。しかし塾に通いだしてから先生方の授業やその中で出される課題をこなしていくうちにだんだんと予習・復習をする良いサイクルが身につけてゆき、塾での在籍期間は短かったですが基礎力を高めることができ、それが成績アップ・志望校合格へ

とつながったと今でもひしひしと感じています。

私が今振り返って現在の大学での勉強にも役立っていると思うことを紹介したいと思います。それは、①復習を何回も細かく分けてすること、②理解したつもりで満足していないか確認することの2つです。

まず1つ目ですが、当然のことながら物事を1回学習するだけで全て覚えられる人はいません。そのために私達は復習をするのですが、1回で広い範囲の復習をやるうとしても当然しんどいです。最後まで集中力もちません。テストの前日にその範囲を急いでやるうとして、結局最後までやり切れずに次の日を迎えてしまう…という経験を私もしたことがあります。しかし、一気に復習しようとした私よりも、ずっと前からコツコツと復習していた友人的の方がいい点数を取っていたことにある気づいたのです。その次のテストからはそのことを教訓に毎日狭い範囲でもいいからやってやろうと決めて実行しました。最初の3日はしんどかったですがそれに耐えて慣れると「こんなに少しずつやるだけで本当に点数が伸び



## 高木の ちょっと いい話

TEACHER'S VOICE 高木 直也 (諸口教室)

### 勝負の後半戦! 充実した受験勉強をするために

早いもので私が開智にきてから4年半が経過しました。私のはじめて担当した開智の中3生は大学生になり、中には一緒に先生として頑張ってくれている子もいます。今年は大学生になったかっの教え子たちがよく諸口教室に訪れてきてくれました。当然話題は当時のことになるのですが、驚いたのは、今でも当時のエピソードをはっきりと覚えてくれていることでした。とあるテストで高得点をとって褒められたとか、ある授業内で発問されたことなど、言われて、ああそんなこともあったなあ。と懐かしい気持ちになるとともに、何気なく接した一つの言動が生徒のその後も気づくと残り続けているのだと思うと、言動にはやはりより一層の注意が必要だとも感じました。

さて、夏期講習がはじまり、3年生は部活動の引退もありよいよ受験勉強本番といったところだと思います。最初こそやる気に満ち溢れ、頑張ろうとはするものの、秋も過ぎてくると「やる気がない」「集中できない」などの悩みを抱え、挙句、点数が伸び悩み苦しむ生徒が出てきます。そういった生徒たちの悩みを聞いていると生活習慣の乱れによる睡眠不足が原因であったことが多いです。話を聞いていると夜眠りにつく時間が

深夜3時、4時を回っていることが少なくありません。入試まで時間がないと睡眠時間を削って勉強をしても、睡眠不足で日中集中できていなければ意味がありません。また睡眠不足は情緒不安定も招きます。つまらないことに悩んだり、イライラしたりしていると対人関係が悪化しどんどん悩みを増幅させてしまいます。ちょっと気が乗らない、集中できないというときは、思いきって何もせずに休んでみましょう。授業が集中できないという生徒は一度生活習慣を見直してみればいかがでしょうか。

気分転換の仕方は人それぞれありますが、私自身が行っている気分転換の方法を一つ紹介します。それは「名言探し」です。かつてのスポーツ選手、偉人、現在活躍されている経営者の言葉を本やインターネットで探して読む、自分の心の支えになる言葉を探すことです。ももとは私自身学生時代、部活動で悩んでいた時期にたまたま本屋で名言集を手にとって読んでみたことがきっかけで、今でもあれこれいろんな形で探すようにしています。気に入った言葉を見つけたらその言葉を述べた人のことを調べる。名言を残した人たちの人生を紐解くと今の私とは比較にならない

### カイチからの お知らせ

- 学習部は7月24日(月)～8月24日(木)は夏期講習期間となり、通常授業と指導曜日・時間が異なります。詳しくは夏期講習のお知らせに記載しております。
- 夏期講習欠席生のために補習日を設定しています。補習日時については講習会のお知らせをご参照ください。
- 8月11日(金)～8月17日(木)・8月26日(土)・8月28日(月)～8月31日(木)は休塾日とさせていただきます。



# Focus



## CLASSROOM REPORT 教室レポート

# 素直で活発。 今津教室、中学部&個別クラス

小田 忠 (統括教室長・今津教室長)

この記事が皆さんの手元に届くのは8月中旬で夏期講習の真っ只中。額に汗、脳に汗をかきながら、勉強に励んでいることだと思います。「夏を制するものは受験を制す」使い古された感がある言葉ですが、今まで受験生を指導してきた、この言葉ほど夏にピッタリと当てはまる言葉はないと感じています。しんどくて逃げたくなることもあるでしょうが、そんな時こそ一歩前へ出る。先生達は全力で指導し、応援しますので、一緒に頑張ります。

冒頭が長くなりましたが、今回は今津教室の中学部の様子についてお話したいと思います。6月から今津で指導にあたることになった私。カイチでは古株の先生ですが、今津に来る前は「一生懸命指導して成績をあげるぞ」という期待と「受け入れてもらえるかな」という不安の思いが入り交じっており、どちらかというと不安のほうが大きかったように思います。

しかし、一度目の授業で不安はどこか遠くへ消え去っていきました。今津の子供達はどの学年も素直で活発。塾にとっても楽しそうにきている姿が印象的で、これならやれるという気持ちになりました。

まずは中学1年生。中1生はとにかく元気。授業中に発問すれば、手をあげて答えてくれる子が多数おり、非常に授業が盛り上がります。授業を受動的に受けるのではなく、積極的に受けているのが特徴。ただ、はめを外しすぎて、一喝入れられ

ることが玉に瑕ですが、徐々に小学生から中学生への階段を昇り始めています。期末テストでは450点以上が3名、自己ベストが1名という結果でしたが、次のテストでは全員が自己ベストを目標に生徒と一緒に頑張っていこうと思っています。その為にも定期テスト前だけでなく、普段の宿題、小テストの勉強からしっかりしていきましょう。

続いて中学2年生ですが、中2という学年は一般的には「中だるみの学年」と言われていますが、今津生にとっては無縁で、期末テストでは理科のクラス平均が85点を超え、クラスの3人に1人が450点以上で自己ベストも8名。自己ベストを取った生徒以外にも自己ベストに近い点数を取っている生徒が多数おり、ノリにのっている学年です。これだけ点数を取っているには秘訣があります。それは目的意識を持って勉強しており、普段の学習を丁寧に行っているからということに尽きると思います。「千里の道も一歩から」と言う言葉がありますが、当たり前のことを当たり前だと確実に目標の点数を取ることができ、志望校合格に近づいていけると思います。この調子で突っ走りましょう!

中学3年生。受験生ということもあり、ひたむきに勉強に取り組んでいる中3生ですが、いい意味で肩の力が抜けており、これから「伸びる」雰囲気がある学年です。成績も安定しており、各中学でトップクラスの成績を取っている生徒や定期テストの点数が入塾前に比べ、160点以上成績を伸

ばしている生徒がいます。素晴らしい一言に尽きます。これからどのように生徒達の心と脳のリミッターを外し、今までの限界を超え、全員を志望校合格まで持っていくことができるかが、私達の腕の見せ所だと思いますので、生徒達と共に頑張っていきたいと思っています。

最後に個別クラスですが、生徒達と担当している古井先生、松永先生が共によく頑張り、入塾前に比べ大きく点数を伸ばしています。熊谷周先生が的確に古井先生と松永先生に指示を与えているのも、成績アップの要因だと思いますが、何よりも古井先生と松永先生が生徒達とよく話しています。勉強のこと、クラブのことなど。年が近いこともあり、生徒達と打ち解けるのが早いです。この円滑なコミュニケーションが信頼関係となり、子供達が頑張る要因になっているのではないかと思います。前回の坪田先生の記事にもありましたが、そろそろ世代交代か?と思わせてくれるシーンも多く、頼もしい学生の先生達です。そして、その先生達に応える生徒達も素晴らしいと思います。生徒、先生が一丸となって頑張りたいと思います。

これからも生徒達の為、スタッフ一丸となり、子供達に寄り添いながら、カイチに来て良かったと思っただけのように、日々精進してまいります。今後ともよろしく願います。そして、何かお困りのことがある場合には些細なことでも結構です。遠慮なくご連絡していただければと思います。



# Education



## KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

# Let's Welcome Summer

Summer always ends with good memories.  
Make this summer the best and live it without regrets.  
So kids let's GET FOCUSED! GET INSPIRED!  
GET AHEAD! "I Can Do It!"

夏はいつも素敵な思い出と共に終わるもの。今年の夏を後悔のない最高のものにしましょう。  
集中!やる気!一歩前へ! "I Can Do It!"

藤川 カトリーナ (トーキングキッズ担当)

Hi parents and students! Welcome to our annual summer school. This year we plan to offer our students a chance to learn in the field of Science, Social Studies and a chance to develop reading skills. We will include "TOKIMEKI" a new way of developing students vocabulary. Concerning Science, we plan to show students what happens when certain chemicals are mixed together; or how and why eruptions occur. I'm pretty sure kids will love this experiment. In the area of Social Studies, we are going to teach students how to follow directions in an actual outside situation. We will explore the city following the map written in English. They become curious of what they see, their minds and bodies become active too.

保護者の皆様、生徒の皆さん、年に一度のサマースクールへようこそ。今年は科学と社会科の分野を英語で学ぶ機会を、そしてリーディングを向上する機会を計画いたしました。「解きメキ」を含む新しい方法で生徒達の語彙力を伸ばします。

科学に関しては、特定の化学物質を混ぜ合わせた時に何が起るかを生徒達に見せます。どのように、なぜ噴火が起こるのか。きっと子供達はこの実験が好きだと思います。

社会科では実際に外に出て、指示に従う方法を教えます。英語で書かれた地図を頼りに街を探索します。彼らは見たことを知りたがるようになります。頭も体も活動的になります。

我々の目的は、上記のような方法を使って語

彙力を身につけ、増やす機会を与えることです。ここではタブレットを渡します。大切なのは「チャレンジ」すること!4日間で100個の単語を覚えるよう挑戦させますが、そばにいてサポートしますので心配ありません。集中、「I Can Do It!」前向きに考えましょう。

リーディングでは、生徒は本が配布され、学校でも、自宅でも練習してもらえようになっています。保護者の方にもサポートをお願いすることになります。また、辞書を使うことは生徒が単語の意味を学ぶのに役立ちます。「No Worries」辞書の使い方も教えるので、心配ありません。おもしろい絵を見ながら本を読めば、やる気も出ます。

もう一つの面白い活動は、自己紹介スピーチをすることです。生徒は自己紹介に加えて興味のあることや、趣味の話をしてもらいます。私は効果的なスタートが切れるよう、スピーチづくりをお手伝いします。そして恥ずかしさを取り除き、勇気を持つようになります。

Another interesting activity is the self-introduction speech. Students will introduce themselves, share their interest and hobbies. I will help you create an effective start, get rid of shyness, and develop courage. During this four - day summer course, an examination will be given to the students to test on how far they have progress in the English studies. We have lots of interesting activities to do in just four days. Come and join this fun-filled and educational summer class. Before you know it it'll be over. So students, I know you can do it, let's GET AHEAD!!!

この4日間のコースでは生徒に試験を受けさせ、どの程度英語力が身についたかをテストします。

たった4日間のうちにたくさんのアクティビティを用意しています。とても楽しく教育的なサマースクールへどうぞお越しください。生徒の皆さん、私は皆さんがやればできることをよくわかっています。行動あるのみ!みんなで一歩前へ進みましょう。

? いろんなことをあそぶの ?

**●火山を作ろう!**  
(理科実験)



**●ドローン飛ばす!**  
(社会)



**●英語で自己紹介!**  
最終日にはマイクを持って大きな声で自己紹介をします。



**●町探検!**  
(社会)



**●英語本を1冊読み切る!**  
ネイティブの子供達に使っているレベル別の多読本を1冊読み切ります。



**●単語を100個覚える!**  
タブレットを使って楽しく単語を覚えていきます。



**●英検ジュニア模擬テスト**  
最終日には英検ジュニアの模擬テストを受けてみます。

